



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長テーマ 「次なる山を目指して」

一宮LCスローガン 「60年 夢と希望に ウィ・サーブ」

第1434回例会

2016～2017

No.1

例会プログラム

と き 平成28年7月13日(水) 12:15

ところ 一宮商工会議所 3F

例会担当 指導力育成・出席委員会

開会のゴング

国旗に礼

国歌「君が代」斉唱

「ライオンズクラブの歌」斉唱

「ライオンズの誓い」唱和

「クラブスローガン」唱和

会長挨拶及び基本方針発表

入会式

委嘱状の伝達及び就任挨拶

誕生日のお祝い

決算報告及び予算案

委員長就任挨拶及び委員会報告

幹事報告

アテンダンス報告

テールツイスター報告

「また会う日まで」斉唱

ライオンズローア

閉会のゴング



次の理事会(第2回)

と き 平成28年7月27日(水) 11:00

ところ 一宮商工会議所 402

次の例会(第1435回)

ZCクラブ訪問例会

と き 平成28年7月27日(水) 12:15

ところ 一宮商工会議所 3F

2016～2017 年度テーマ・スローガン

◆ 国際会長テーマ

「命の尊厳と和」

◆ 334 複合地区スローガン

「100周年にウィ・サーブ
つなげよう未来へ」

◆ 334-A 地区ガバナーズスローガン

「夢・創造・未来への懸け橋」

◆ 一宮LCスローガン

「60年 夢と希望に ウィ・サーブ」

◎委嘱状

- ライオンズクラブ国際協会334複合地区ガバナー協議会
議長L久野好輝より委嘱状届く

334 複合地区LCIF・国際関係委員 L青山吉光

- ライオンズクラブ国際協会334-A地区 地区ガバナー
L垣見正則より委嘱状届く

キャビネット役員

地区年次大会委員長	L 松 山	栄
地区LCIF・国際関係委員長	L 青 山	吉 光
地区情報委員長兼キャビネット幹事	L 下 田	心 一
地区財務委員長兼副会計	L 五 藤	一 樹
地区年次大会事務局長	L 坂 本	毅

リジョン役員

3R 環境保全委員	L 山 中	一 史
3R 家族及び女性(FWT)委員	L 大 島	八 重 子

◎お誕生日おめでとうございます

7月9日 L原 田 豊 子
16日 L加 藤 裕 紀
18日 L坪 内 章 浩
22日 L大 山 恭 範
29日 L野 村 政 司



(有) 青山造園

一宮市大和町北高井1186

☎ 45-5427 FAX 45-0855

L 青 山 吉 光

新会員紹介



あら い まこと
L新井 誠
S. 45.8.10 生 (45 才)

会社名：(株)サンフラワー
役 職：代表取締役
業 種：サービス業
スポンサー：L 野村政司
所 属：青少年教育委員会

住 所：〒491-0013 一宮市北小渚字大日 125-1
TEL・FAX 48-5183
自 宅：〒491-0115 一宮市浅井町西海戸字西屋敷 16-1
TEL 090-6587-8234



し が りゅう じ
L志賀 龍 司
S. 39.6.25 生 (52 才)

会社名：(株)ピコグラム
役 職：代表取締役
業 種：介護業
スポンサー：L 杉山幸紀夫
所 属：青少年教育委員会

住 所：〒491-0113 一宮市浅井町西浅井式軒家 28-1
TEL 78-8790 FAX 78-8791
自 宅：〒491-115 一宮市浅井町西海戸字東屋敷 1-2
TEL 51-7704



い け だ とし あき
L池田 利 昭
S. 43.12.15 生 (47 才)

会社名：(有)スタンス
役 職：代表取締役
業 種：建設業
スポンサー：L 石川英明
所 属：四献推進・アイヘルス・聴覚委員会

住 所：〒501-6023 各務原市川島小網町 2146-37
TEL (0586) 89-6411 FAX (0586) 89-6412
自 宅：〒491-0025 一宮市羽衣 2 丁目 3-3
TEL 85-7963



すぎ もと あつし
L杉本 敦
S. 44.2.6 生 (47 才)

会社名：(株)マホリ
役 職：専務執行役員
業 種：一般貨物運送事業
スポンサー：L 野村政司
所 属：親睦委員会

住 所：〒491-0822 一宮市丹陽町伝法寺字高大門 670
TEL 76-8377 FAX 77-1154
自 宅：〒491-0934 一宮市大和町刈安賀字観音堂 128-5
TEL 43-1060



い わ た まさ し
L岩田 昌 志
S. 52.10.1 生 (38 才)

会社名：(有)岩田保険事務所
役 職：代表取締役
業 種：保険代理業
スポンサー：L 長田 太
所 属：市民・環境保全・社会福祉委員会

住 所：〒494-0001 一宮市開明字飛山流 40-1
TEL 64-8611 FAX 64-8612
自 宅：同上
TEL 64-8610



つ ぽ う ち あき ひろ
L坪内 章 浩
S. 52.7.18 生 (38 才)

会社名：(株)らんぷ
役 職：代表取締役取
業 種：飲食業
スポンサー：L 野村政司
所 属：親睦委員会

住 所：〒492-8272 稲沢市桜木宮前町 89-1
TEL (0587) 81-7739 FAX (0587) 81-7740
自 宅：〒492-8207 稲沢市稲島町洲原東 4639-3
サンマンション アトレ国府宮 520
TEL・FAX (0587) 81-4290



く ぼ たつ や
L久保 辰 也
S. 51.5.23 生 (40 才)

会社名：名古屋避雷針工業(株)
役 職：代表取締役
業 種：避雷針メーカー
スポンサー：L 大山恭範
所 属：LQ・薬物乱用防止・レオ委員会

住 所：〒491-0871 一宮市浅野字大西東 34
TEL 76-5831 FAX 76-5946
自 宅：〒487-0035 春日井市藤山台 10 丁目 22-1
TEL (0568) 95-3360



と く や ま か つ や
L徳山 勝 也
S. 49.10.23 生 (41 才)

会社名：(有)掌福
役 職：代表取締役
業 種：飲食業
スポンサー：L 野村政司
所 属：青少年教育委員会

住 所：〒504-0914 岐阜県各務原市三井東町 1-106-1
TEL (058) 375-3388
自 宅：〒491-0364 一宮市萩原町中島城趾 8-2
TEL 69-0588 FAX 69-4680

新会員紹介



の の がき そういちろう
L野々垣 聡一郎
S. 50.6.12 生 (40 才)

会社名：ヴァーセルテクノロジー&コミュニケーション㈱
役 職：代表取締役
業 種：システム開発
スポンサー：L 野村政司
所 属：市民・環境保全・社会福祉委員会

住 所：〒460-0008 名古屋市中区栄 2-5-13 アイエスビル 8F
TEL (052)265-7733 FAX (052)265-7732
自 宅：〒460-0008 名古屋市中区栄 1-20-10 グランアベニュー栄 1004
TEL 090-9183-0230



み よ し しゅう どう
L三好 秀 導
S. 27.8.27 生 (63 才)

会社名：宗教法人 聴信寺
役 職：住職
業 種：僧侶
スポンサー：L 村橋福一郎
所 属：LCIF・国際関係・YCE 委員会

住 所：〒491-0051 一宮市今伊勢町馬寄字山之小路 47
TEL 73-5223 FAX 73-5297
自 宅：同上
TEL 73-4978



の む ら ひ と し
L野村 一 詞
S. 42.10.25 生 (48 才)

会社名：野村石油店
役 職：代表
業 種：サービス業
スポンサー：L 伊藤裕彦
所 属：四献推進・アイヘルス・聴覚委員会

住 所：〒491-0113 一宮市浅井町西浅井郷前 36
TEL 78-1053 FAX 78-3701
自 宅：〒491-0124 一宮市佐千原字郷前 31-5
TEL 72-2880



わ だ つよし
L和田 剛
S. 53.8.12 生 (37 才)

会社名：㈱和田建設
役 職：代表取締役
業 種：建設業
スポンサー：L 野村政司
所 属：親睦委員会

住 所：〒485-0058 小牧市小木 3 丁目 108
TEL (0568) 72-9720 FAX (0568) 75-4006
自 宅：〒485-0058 小牧市小木 3 丁目 107
TEL・FAX (0568) 97-4414



は ら た つ や
L原 竜 也
S. 54.1.16 生 (37 才)

会社名：㈱原建サービス
役 職：代表取締役
業 種：運送業・倉庫業
スポンサー：L 野村政司
所 属：計画委員会

住 所：〒491-0825 一宮市丹陽町外崎字久古 491
TEL 64-7877 FAX 76-7886
自 宅：〒491-0836 一宮市効木 4 丁目 13-102 ホワイトベルズ B
TEL・FAX (0586) 24-5561



有限会社 **アサノ美装**

一宮市木曽川町門間東大坪 13
TEL 52-6301 FAX 52-6355
L 浅野 俊 幸

LED工房Hiro

customize
personal computer

一宮市時之島字八竜 6-24
TEL・FAX 76-3836
L 東 宏 拓

Kinoshita Newspaper Shop

中日新聞 一宮大毛専売店 街木下新聞店

一宮市杉山字氏神廻 42-2
TEL 51-4440 FAX 51-4140
L 朝比奈純一



株式会社 **阿部商会**

高級化粧箱・印刷紙器・段ボールケース・包装資材
一宮市奥町字加古穂 25-1 TEL 61-0005 FAX 61-0588
L 阿 部 勇

就 任 挨 拶



会長 野村 政司

この度、伝統ある一宮ライオンズクラブの第60代会長を仰せつかり、身に余る光栄と大変な重責を感じております。

私が一宮LCに、お世話になり11年が経ちました。入会させて頂いた頃は例会にも出席せず不良会員で諸先輩方を、ヤキモキさせた頃を思い出す次第です。本当に右も左も分からない私を厳しさと愛情で、ここまで育てて頂き心より感謝申し上げます。

本年度は、60周年という一つの節目の年になります。メインアクティビティは、「青少年育成」「カンボジアの未来」をキーワードに第50代会長L坂本 毅が50周年記念事業として、カンボジアで学校を作られ10年が経った今、その学校の修復工事と飲料水用の井戸を新設させて頂きました。

また、10月26日の一宮LC結成日には、結成60周年記念式典を名古屋マリオットアソシアホテルにて開催させて頂きます。

そして、本年度は多くの新入会員の方々に入会して頂き、共にライオンズ活動を「ウィ・サーブ」の精神を持って進んで参りたいと思っております。

最後となりましたが、本年度のクラブスローガンは「60年 夢と希望に ウィ・サーブ」とさせて頂きました。60年という大きな歴史を振り返り、70年・80年と先を見据えた社会奉仕に夢と希望を持ち、精進して参ります。



(有)琉球フロアー

一宮市小赤見字戌亥10-2
TEL 77-5712
L 新垣 憲勝



建設物 運搬 解体 解体撤去 プランニング
株式会社 荒新機工
koushinkikou

一宮市小赤見清水4-1
TEL 24-7272 FAX 24-7278
L 新谷 匡人



幹事 西尾建一郎

この度は伝統ある一宮ライオンズクラブの幹事を仰せつかり大変に光栄に感じると共にその職務の重責に一層に身の引き締まるおもいでございます。

ご存じのとおり本年度は結成60周年という大変に重要な節目の年ですので、より一層の責任を痛感しております。とはいえ私自身はまだ入会5年目であり、また年齢もクラブ年数にも遠く及ばない若輩者であります。そんな中でも野村会長、大山会計ら諸先輩方々の皆様からのお力添えを頂き、今回の拝命となりました。

『60年 夢と希望に ウィ・サーブ』のクラブスローガンのもと原点回帰を忘れずに、伝統ある一宮ライオンズクラブの誇りと品格を遵守したいと思います。

これから一年間、微力ながら全身全霊で野村会長を支えて参りますが、各役員様・各委員長様はもとよりメンバー皆様方のご協力を頂かないことには何事も成し得るできません。

故にどうかこの60周年という記念年度の今期には皆様方の格別なるご指導・ご鞭撻を賜りますことを忠心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。一年間宜しくお願い致します。



会計 大山 恭範

この度は伝統ある一宮ライオンズクラブの会計を仰せつかり大変光栄に存じます。

本年は結成60周年を迎えます。

周年に際し、記念事業・記念式典等の費用を特別事業積立金から充てるように準備してまいりました。記念事業としてカンボジアに建設した学校の修繕を行い、既に完成式典も終了しております。

財務委員長には、L 青山吉光にお引き受け頂き、皆様方から頂いた貴重な会費が有効に使用されるよう、各委員会の事業・運営費など適切に予算を組んで頂けるものと思っております。

会員の皆様には温かいご理解・ご指導・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。一年間宜しくお願い申し上げます。



リジョン役員就任挨拶



3 R 環境保全委員 山中一史

この度 3R 環境保全委員を仰せつかりました。

リジョンへの出向は初めてであり勉強しながら一年間務めさせていただきます。

ます。

身近なところでは、中央道クリーン大作戦があります。これは 1Z・2Z 合同アクティビティであり今年も計画しています。

その他にも、この地域に生息してる動物たちの生態系をおびやかす害獣の駆除、防犯カメラの設置の意見も出ています。

いずれもメンバーの方々の協力なしには出来ません。ご指導・ご協力よろしくお願い申し上げます。とともに一年間よろしくお願いします。



3 R 役員一覧表

(2016.7～2017.6)

1 Z ・ Z C	L 内藤博之	稲 沢 緑 LC
2 Z ・ Z C	L 肥田 正	津 島 LC
PR・ライオンズ 情報・IT 委員	L 松永幸一	一宮サウス LC
LCIF・国際関係委員	L 立木繁治	蟹 江 LC
Y C E 委 員	L 安藤 徹	海 部 LC
環境保全委員	L 山中一史	一 宮 LC
ライオンズクエスト・ 薬物乱用防止・レオ委員	L 足立正一	尾 西 LC
五献推進委員	L 中村隆人	稲 沢 緑 LC
家族及び女性 チーム (FWT) 委員	L 大島八重子	一 宮 LC
Y C E 副委員	L 伊藤治昌	愛 西 LC



3 R 家族及び女性チーム (FWT) 委員 大島八重子

二年にわってこのお役目を頂きまして、複雑な心境でございます。

ライオンズクラブにおいての家族・女性の世界を確固とさせる為に

出来た FWT…。

とても難題をかかえている様な気がしてなりません。いろいろな意味で現在のライオンズクラブは大きな変革期に入っているのかもしれません。弱い人への味方、満ち足りない世界への支援。そして奉仕、とても尊い慈善事業です。

その中で、FWT の成さねばならない事と言えば、まず抜本的な意見を大きくまとめ、これぞという活動につなげたらよろしいのでは…。

この方向に歩を進めますよう、及ばずながら努力したいものです。



第 1433 回例会ドネーション・ファイン

合 計 35,000

◎ドネーション

35,000

L 石黒 薫	1 年間ありがとうございました	10,000
L 佐藤正剛	日 洋 展 に 入 選	10,000
L 三輪泰治	1 年間ありがとうございました	5,000
L 下田心一	日工会展にて奨励賞受章	5,000
L 平光昌彦	1 年間ありがとうございました	5,000

◎ファイン

0

ドネーション・ファイン累計 1,462,100

 いちい信用金庫

TEL 75-6213
L 栗野秀樹

社会医療法人
 大雄会

一宮市桜 1-9-9 TEL 72-1211
L 井尾公治

2016～2017 年度

国際テーマのハイライト：次なる山を目指して



国際会長

ボブ・コーリュー

ボブ・コーリュー氏(米国テネシー州ミルトン)が2015年6月26日～30日にかけて米国ハワイ州ホノルルで開催された第98回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の第一副会長に選出された。

コーリュー副会長は、テネシー州の元裁判官および元法学部教授。

1978 年以来マーフリーズボロ・ライオンズク

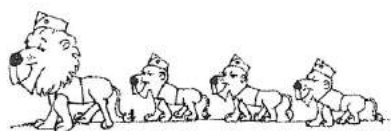
ラブの会員であるコーリュー副会長は、初代クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、地区ガバナー、キャビネット幹事、協議会議長など数多くの役職を歴任してきた。多くの新クラブ結成にも重要な役割を果たしてきており、最近では、弁護士や裁判官から成る新クラブ結成に取り組んだ。ちなみにこのクラブは、結成1年目に75人以上の会員増強を達成した。



国際協会への貢献が認められ、リーダーシップ・アワード、ビルダー・キー賞、国際会長賞3回、さらには国際協会より会員に与えられる最高の荣誉である親善大使賞を含む多数の賞を受賞。ヴァンガード・オブ・メルビン・ジョーンズ・メモリアル、累進リンジー・ジェニングス・フェロー、累進メルビン・ジョーンズ・フェローとしても表彰も受けている。

ライオンズの活動に加え、米国ボーイスカウト連盟、青年会議所、米国赤十字社でも活躍している。ミルトン市会議員を務めたこともあるほか、米国陸軍予備軍の少佐でもあった。

同しくライオンで累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもあるダイアン夫人とのあいだには、5人の子どもと4人の孫がいる。



2016 年～2017 年度

国際テーマのハイライト

ボブ・コーリュー次期会長の故郷、テネシー州は、さまざまな風景と音にあふれています。なだらかに起伏する丘陵や山々、ミシシッピ川の流れ、そして農業、産業、野生の命などが織りなす風景や音が、テネシーの温かいもてなしの文化を育んだ独特の風土を作り出しています。テネシーの人々は、隣人が隣人を助け、見知らぬ者がを助けるという、古き伝統に立って暮らしています。それゆえに、テネシーはこれからも『ボランティア・ステート』として未永く知られるでしょう。

少年時代にテネシーで身をつけた伝統と、困難を乗り越えチャンスを活かして山中での生活を切り開いた先人たちの独立心を受け継いだコーリュー次期会長が、2016～2017 年度国際テーマとして掲げるのが「次なる山を目指して」です。

このテーマでは登山が、克服に最大限の努力を要する、困難で険しい課題の喩えとして描かれています。しかし、こうした山を乗り越えてこそ、私たちは成長することができるのです。一つひとつの山が、新しいチャレンジ、新しいチャンスを表しています。私たちの住む世界が絶えず変化するにつれ、奉仕の新たなチャレンジ、新たなチャンスが訪れます。その一つひとつが山なのです。そしてそれらの山々を登る時、ライオンズは世界をより良い場所にする機会を得ます。

ライオンズ奉仕の100年を祝うに当たり、私たちは過去に敬意を払い、現在を見つめ直しますが、見据えなければならないのは、未来です。次なる山を乗り越えようとするならば、後に続く次世代のライオンズたちに道を示し、奉仕の伝統を守るため、眼前に進むべき道を整えなければなりません。

【奉仕の頂点に達する】

山頂に達するのは、旅の終わりではありません。新たな旅の始まりです。新たなチャンスです。奉仕を通して導く。それこそが、われわれの強みなのです。

奉仕こそが組織の存在意義の根底にあるべきというビジョンを全員が確実に共有するため、引き続き、ライオンズの奉仕イニシアチブと各種プログラムを吟味しなければなりません。これからも、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての地位を高めつつ、奉仕を通して導くべきなのです。

ライオンズは、環境保護、青少年の生活向上、飢餓をなくす取り組み、視力関連の奉仕活動という四つの主要分野をはじめとするさまざまな方法で、健やかな地域づくりに貢献しています。ライオンズはこれからも、奉仕の新たなチャンスをつえ、「われわれは奉仕する」のモットーを実現し続けます。高すぎる山はないのです。

2014年に100周年記念の取り組みが始まった際、ライオンズには次なる山である「100周年記念奉仕チャレンジ(CSC)」に登ることが呼びかけられました。CSCでは、2018年6月30日までに四つの主要奉仕分野で1億人以上の生活にインパクトを与えることをライオンズに勧めています。初年度に、私たちは目標の3分の1以上を達成しました。そして2年目を終えようとする今、3分の2の数字をゆうに越え、目標達成は目の前です。

【地域社会とつながる】

必要とされる奉仕を行うことで、揺るぎない絆が生まれ、ライオンズクラブは真に**地域社会とつながる**ことができます。大小問わずどんな地域でも、100周年記念レガシー・プロジェクトを行う機会があります。世界中のライオンズがこの新しい挑戦を受けて立ち、ライオンズの素晴らしい活動と創立100周年目にわれわれが登頂した山々を、会員と地域住民にいつまでも思い出させてくれる永続的な遺産(レガシー)を築き上げています。レガシー・プロジェクトでは、20,000クラブ以上の参加を目指しています。この特別事業に参加し、ライオンズのロゴを永続的な形で明確に表示すること、そして国際協会に事業を必ず報告することが、すべてのライオンズに奨励されています。レガシー・プロジェクトについての詳細は「Lions100.org」ウェブサイトに掲載されています。

【次の山を越えるためのリーダー】

増え続ける奉仕へのニーズに応えるべく、行く手にそびえる山を一つひとつ越えていくためには、効果的かつ効率的にそれを行う必要があります。それを可能にするのが、優れたリーダーの存在です。奉仕を強化するには、力強いリーダーシップが不可欠です。そして奉仕を強化することが、強いクラブ作りにつながり、強いクラブがメンバーの誇りと、積極性、情熱を生むのです。

100年祭を祝うに当たり、われわれは未来に向けて計画を立てなければなりません。リーダーシップの育成こそが、奉仕の次世紀に突入しても、時代にマッチした、活力にあふれる組織であり続けるための手段です。引き継ぎを念頭に置き、長期に渡りわれわれを導き支えることのできる、知識と、能力と、情熱と、先進的な考えを持ち併せたライオンズリーダーを十分に確保しておくことが重要となります。

頂点を目指すのであれば、有能なリーダーだけでなく、正しい道具を揃えることも必須です。ライオンズのリーダーシップ育成における各種プログラムやツール、資料によって世界何千人というライオンズがスキルを磨き、課題にうまく対応するだけでなく、未然に防ぐ技術をも身につけてきました。会場で行う研修でも、オンラインでの研修でも、好みに合ったトレーニングを受けることが可能です。国際協会とGLTが用意する幅広い研修と育成のチャンスを利用することで、さらなる高みを目指すよう、コーリユー次期会長はすべてのライオンズに呼びかけています。

【新会員勧誘によるインパクト拡大でチームをつくり上げる】

ライオンズクラブ国際協会は、他者により良い奉仕をするという共通目標に向かい手を取り合う、多くのチームで構成されています。この目標を目指す上で、私たちは個々の役割と責任を理解し、目標達成という共通のフォーカスを保ち、自分を信じ、互いを信頼し、チームメンバー一人ひとりの個性を尊重します。この五つの価値観こそが、良いチームに欠かせないものであり、頂点に達することを可能にしてくれるものです。

チームの一人ひとりが重要であり、全員が影響力を持っています。私たちは仲間を増やさなければなりません。一人の新会員が奉仕によって影響を与える人の数は最低30人です。つまり1,000人が新たに入会すれば、3万人の人生に影響を与えることができるのです。これこそ、私たちが組織を拡大しなければならない理由です。**新会員を招聘してインパクトを高める必要があるのです。**

100周年記念期間の目標は、すべてのクラブが毎年少なくとも3人の新会員を増やし、すべての地区が少なくとも一つの新クラブを結成することです。これは約13万8,000人の新会員を意味します。たった5%の増加にしか相当しませんが、それによって奉仕のインパクトを受ける人は410万人も増えることになるのです。力を合わせれば、この頂点にたどり着くことができます！

【山々をつなげる】

山というのは決してそれだけで孤立しているものでありません。つながっているものです。テネシー州を縦断するアパラチア山脈のような連なりの一部なのです。ライオンズもまた、奉仕を通じ、友情を通じ、またライオンズムを通じて、つながっています。世界中のライオンズがインターネットを介して互いにつながるようになり、世界は前よりも小さくなっています。

これまで以上にライオンズはテクノロジーを取り入れ、ソーシャルメディアを駆使して一般社会とつながっています。オンライン例会を試しているクラブもあります。国際役員たちは、一国にいながらにして、他国で集まる

ライオンズに講演を行うことも出来るようになりました。電子的なコミュニケーションの使い道は多岐にわたります。より幅広い、より多様な相手に情報を伝達できること、時間と経費の節約になることなど、そのメリットもまた多数あります。

ライオンズ創始者、メルビン・ジョーンズは、ライオンズやまだライオンズクラブのない地域と、個別に連絡を取ることに膨大な時間を費やしました。彼の手紙は、ライオンズを動かし、新クラブ結成へと駆け立てました。私たちが未来を計画する上で、テクノロジーは重要な役割を占めます。ライオニズムの効率、便宜、拡大の精神にもとづき、メルビン・ジョーンズもこれを認めてくれることでしょう。

【次なる山、そしてその向こうへ】

100 周年祭が終わってからも、私たちの行く手には越えるべき新しい山が現れ続けるでしょう。前進すればするほど、世界各地で高まり続ける奉仕のニーズが次々と立ち上がるでしょう。だからこそ、私たちは前進しなければなりません。ライオンズは、その山の一つひとつを乗り越えなければなりません。その山とは、私たちを必要とする人々なのですから。

「LCI フォーワード」は、ライオンズの奉仕のインパクトを拡大し、現在の運営体制を改善して、ライオンズ奉仕のもとに人々を一つにする新たな道を模索するために考案された戦略計画です。LCI フォーワードの主なゴールは、年間 2 億人以上、つまり現在の 3 倍以上の人に奉仕を提供することです。

さらには、世界で最もよく知られるボランティア組織/ブランドを目指すと同時に、クラブ、地区、そしてライオンズ・ファミリーに最上級のサービスを提供すること、そしてライオンズの名のもとに人道奉仕活動に人々を巻き込んでいくための斬新な方法を探ることも掲げています。

2017 年のシカゴ 100 周年記念大会の際には、新しい主要グローバル奉仕分野を大々的に発表する予定です。これは、すべてのライオンズが受け入れ、一般社会に広く認識される、統合的な奉仕のプラットフォームとなるものです。世界中のライオンズが登るのを心待ちにする、新しい山なのです！

【頂上からの眺め】

次なる挑戦。次なる目標。次なる奉仕の対象。次なる山を目指して、私たちの仕事はまだまだ終わりません。奉仕の次のレベルを目指しながら、次世代のライオンズのための道筋を残さなければならないことを、私たちは知っています。コーリュー次期会長は、新たな高みへと引き続き登っていくこの旅に加えるよう、すべてのライオンズを招いています。

国際会長メッセージ

2016-17年度 ポブ・コーリュー

2017 年ライオンズの力が終結

最近、キャシー・シングルトン女史はライオンズ国際協会宛に E メールを送りました。彼女が米国・ミズーリ州スプリングフィールドの小学校 1 年生だったとき、ライオンズクラブは彼女に眼鏡を届けました。彼女から次のような素敵なメールを頂きました。「初めて木々の 1 つ 1 つの葉っぱが明瞭に見えたときに感じた喜びは今でもよく覚えています。この世界に存在する無限の美しさを見ることができて心から感激しました」。「皆さんが私にしてくれたように、これからも他の多くの子供たちへのご支援を心より願っております」。

もちろんです、シングルトン女史。私たちは次の 100 年に向けて、これまでの 100 年と同様、これからも子供たちはもちろん、大勢の人々に奉仕活動を行ってまいります。100 周年の年を迎え、過去に敬意を払うと同時に、将来の協会の発展に向けて取り組んでいきます。

ライオンズの長い歴史の中で、私たちは個人に対してだけでなく、しばしば地域社会全体に対してもインパクトを与えてきました。1964 年の地震と津波で破壊されたアラスカ州のアフォグナック島では、住民のために新しい町を建設しました。また、牛で有名なテキサス州は非常に乾燥した土地で、町は頻繁に発生するプレーリーの山火事の脅威にさらされていました。そこで、リーキー市のライオンズは 5 年前、消防車を備えた消防隊を組織し活動を開始しました。さらに遡って 1925 年、ペンシルバニア州ヨーク市のライオンズが、学校不足の懸念から、豊富な蔵書を備えた巡回型の図書館の運営を始めました。過去 100 年のライオンズの出来事のページには、このような生活や暮らしを変え、時には生命を救うよう活動事例が数万件も記録されています。

私たちの 100 周年奉仕チャレンジの目標は、2018 年 6 月までに 1 億人以上の人々に奉仕することです。現在、この目標に向けて順調に進んでいます。所属のクラブもぜひ「ご参加」ください。また、他の方法として、家族や友人を誘って一緒に奉仕活動を行ったり、地域社会でレガシー・プロジェクトを企画して、100 周年記念を祝いましょう。参加方法については、Lions100.org をご覧ください。

私は 100 周年記念の年に会長に就いたことを光栄に思います。大きな歴史の中で、皆さんがこの特別な瞬間にライオンズあることに少しでも感動していただければと思っています。私たちは当協会の継続的な発展と強化に尽力することにより、今日の奉仕活動は何十年も先に影響を及ぼし、未来の世代により良い姿のライオンズクラブを残すことができます。



2016～2017 年度

地区スローガン

「夢・創造・未来への懸け橋」



地区ガバナー

かき み まさ のり
L 垣 見 正 則

3R1Z ー宮サウスLC

地区ガバナーキーワード

原点から奉仕にチャレンジ

ガバナーキーワード3つの目標

① 夢

一人の夢はただの夢にすぎずとも、万人の夢は必ずや
叶う(百済初代王の言葉)夢、希望を持とう！
各クラブで一つの夢(奉仕のニーズ)を描く(会長セミ
ナーに提出または発表)→意識改革

② 創造

過去にこだわらず、新しいものを考え、自ら作り出す
→変化への対応
過去のアクティビティを見直し新しいアクティビテ
ィの提案→温故知新

③ 未来への懸け橋

100周年から200周年に向けての起点
志と先見性が革新を生む

<三つの戦略>

①100年の奉仕活動はコミュニティの形成、レガシー
とし、200年に向けて永く継続的にインパクトを
もたらす新たな事業を創造する。

- 青少年健全育成等を中心として考える
- 特に地域社会の若手リーダーの開発、育成に力を入
れる(未来のライオンズを見据えて)

②GLT・GMT・FWTの充実

(歴史と伝統を持つ世界一の奉仕団体として、若者や
女性から理解される魅力ある団体へ)

GLT…クラブ指導者の意欲喚起して、下記目標を設
定し、リーダーシップスキルを高める

- クラブのさらなる向上
- リーダーシップの質の向上
- 若手リーダーの開発

GMT…新会員の増強と新クラブ(特に女性クラブ)
の結成に努力する

会員の資質を向上させることよりクラブの向
上と維持率を高める

継続的な会員増強の推進

FWT…女性や家族がアクティビティに参加すること
により、ライオンズ活動への理解を深めクラ
ブのパワーアップとなり→地域社会の求め
るニーズに応えることができる

*奉仕を通して、地域の安心安全、視力保護、飢餓撲
滅、環境保全の分野にチャレンジ奉仕活動の基礎を
支えるLCIFへの理解と貢献

【基本方針】

1917年にアメリカで誕生したライオンズクラブ国
際協会は、今年で100年目を迎え、現在では世界210
ヶ国の地域に広がり、約46,700クラブ、139万人余
りの会員を擁する世界最大の奉仕団体となりました。

「地域社会の改善に力を合わせよう」という創設当初
と同じ、シンプルな考えのもとに、無数の奉仕を行って
参りました。ライオンズでは、緊急支援と長期的な災害
救援を提供しています。日本で起きた未曾有の自然災害
である、阪神淡路大震災、東日本大震災の際には、LCIF
の迅速な基金の投入により、災害救援への寄付が行われ、
たくさんの被害者を救うことが出来ました。

ライオンズは「誇り」を持って地域社会に奉仕すると
ともに、人道支援を始め世界中の多くの人々の“生きる
力”に貢献して参りました。

2017年にライオンズクラブ国際協会創立100周年
を迎えるにあたり、「夢・創造・未来への懸け橋」の地
区スローガンを掲げました。

◎ 夢

「一人の夢はただの夢に過ぎずとも、万人の夢は
必ずや叶う。決して夢を失わず希望を持とう」

夢は、個々によって違い、多様性があります。大
きな夢、例えば世界平和を願う心は、個々に思いは
あっても一人一人の力では成しがたいところがあり
ます。しかし同じ思いを持っている者同士が集まり、
協力し、活動を広げていくことで、大きな夢が現実
へと近づいてきます。

◎ 創造

過去にこだわらず、新しいものを自ら考え、自分
の手で生み出す力です。今までの奉仕はレガシー(前
代の人達が残した業績)と考え、次に100年に向け
た新しい取り組みが重要な鍵となります。

世界に広がったライオンズの輪を多面的に分析す
る柔軟な思考が必要です。

◎ 未来への懸け橋

ライオンズの精神を次の世代にどう引き継いでいくのか、100年目から200年に向けて、人々が「何を求め」、また「何をすべきか」を真剣に考えなければなりません。その為に我々は、各個人がライオンとしての資質の向上をはからなければなりません。今こそがその好機であると考えます。

本年度の地区ガバナーキーワードは“原点から奉仕にチャレンジ”です。

本年度のアクティビティの重点は、青少年健全育成と若者の将来への期待です。原点に戻り、国の宝である子供及び青少年と共に奉仕をしたいと考えております。具体的な貢献活動としては、本の寄贈、職場体験学習、街頭指導活動、講演会等ありますが、皆様と共に知恵を出しながら企画を進めていきましょう。

次に重要なクラブ運営は、皆さんが直接参加する権利と義務があり、例会出席がいかにか大事かを念頭に置き、規律正しい運営をして下さい。会員数については、全体としては減少が続いている中でも、近年は、女性及び家族会員の増加により回復の兆しが見えつつあります。是非皆さん、たくさんの同志と共に夢に向かって一丸となって行動しようではありませんか。“クオリティの高い真の会員増強”は、クラブの力となり、アクティビティの充実と社会貢献につながります。

最後になりますが、昨年度は日本からL山田實絃がライオンズクラブ国際協会の会長に就任されました。山田国際会長は99代目会長として、「これまでのライオンズを見直し、滞ったところ削り落とし、ピカピカにして次の新世紀に繋げるべきである。」とおっしゃっています。これは、武士道の精神でもあり、切り捨てるものは捨てて、潔く、真摯に変革していく日本の哲学と言えます。この力強いリーダーシップにより、改革への一歩と、200年に向けて新たにスタートをきる事が出来たと思います。今こそが日本から全世界に向けて発言する時です。皆様の力を合わせ、次の100年へ向けて進んで行きましょう。



【地区の活動方針】

1. GLT・GMT・FWT の推進

*GLT は、指導力育成に関する目標を設置し、目的を盛り込んで行動計画を実行する。それには、クラブ指導者の意欲を喚起し、目標の設定とリーダーシップスキルを高める。

そして、公認ガイディングライオン、CEP ファシリテーターの養成、及び若手リーダー育成セミナーへの参加を促す。

*GMT は、GLT、FWT メンバーと協力し、情報とアイデアを交換し、会員増強の効果的な計画を策定する。

*FWT は、家族会員、女性会員のライオンズ行事への参加と理解を促し、女性ならではのアクティビティを推進する。

本年度は「地区エクステンション委員長」と「家族及び女性会員増強委員長」を設置しました。この二つの委員会は、女性会員の増強をはかる目標を共有し、女性新クラブの結成を目的とします。

会員増強にはクラブの会長のやる気とリーダーシップが最も重要であります。ゾーン・チェアパーソン、地区のGLT・GMT 委員の皆様は強力なバックアップをお願いします。

*GLT・GMT・FWT 目標の共有

①会員増強の目標は各クラブ純増3名以上です。

②当地区は女性会員の比率が低いので、女性会員の入会に尽力して下さい。

③家族会員については、特に事業継承者の入会を図って下さい。

④新しいリーダーを見い出し育てる。セミナーを実施し、クラブ会長はじめ経験豊富な会員は、指導力育成に努めてください。

2. 青少年健全育成事業の推進

ライオンズクラブにとって、重要な活動の一つが青少年支援です。子供たちは私たちの未来であり、明日の担い手ですが、誰よりも私たちの助けを必要としている存在です。より内容の濃い青少年育成事業が行えるよう努力してください。

①ライオンズクエスト（思春期のライフスキル教育）の推進

青少年の穏やかな成長と、薬物乱用防止を願って企画された総合的プログラムです。当地区では、LCIFの四大交付金を使用して、より実績を増やせるよう取り組んでいきます。ライオンズクエストを通じて、子供たちに意思決定や目標設定できるライフスキルを身につけて欲しいと考えています。

最近では、薬物乱用の若年層への広がりが大変深刻な問題になっております。単位クラブに於いては小

中学生のための薬物乱用防止教室の開催をお願い致します。また、本年度も薬物乱用防止教育認定養成講座の開催を企画します。

②YCE 事業の推進

YCE 事業は、より多くの青少年に他国の人と接する機会を提供し、異なる文化を持つ家庭や地域社会での体験をもとに、相互理解と親善を促進するものです。単位クラブにはご負担をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

③レオクラブの結成に努力を

レオクラブは現代社会における青少年の指導育成を目標として、ライオンズクラブに与えられた重要なアクティビティの一つであり、次の世代へと引き継ぐための重要なプログラムです。その充実を図っていきたく考えています。

3. LCIF への交付金と活用

LCIF は、我々の国際的奉仕活動の核です。交付金を通じて、迅速に災害に襲われたコミュニティを支援することができます。

334-A 地区は、LCIF への貢献では、世界に誇る実績を残してきました。

2015 年のノーベル賞生理学・医学賞を受賞された大村博士の功績には、MJF 献金が有効に活用されました。積極的に MJF へのご協力をお願い申し上げます。

当地区の LCIF の年間目標として、1000 口以上の献金を皆様をお願いしたいと思っております。

近年、当地区は交付金事業が非常に活発になり、多くの実績を上げております。今年度も交付金事業を企画、実行して頂きます様お願い申し上げます。

4. 環境保全の推進

我々はより便利な生活を手に入れるために、産業を拡大し、技術を進歩させ、資源を利用してきました。この発展が自然環境に与えてきたものは大きく、人類と自然とが共存できる状況を作り出し、維持していかなければなりません。多くのクラブが環境保全事業に取り組んでいますが、より進化させていただくようお願い申し上げます。また、今年度も環境写真コンテストを実施致します。

5. 献眼、献腎、献血、骨髓移植推進、聴覚推進

当地区は献血運動について、多くのクラブが取り組んでいます。引き続き、積極的に取り組んで下さい。献眼の重要性はよくご存じのことと思います。角膜移植は、それを受ける人々の人生を変えます。地域の意識向上を図り、積極的な活動をお願いします。

6. 積極的な新規事業の企画・推進(環境への対応)

クラブの活性化には新規事業を企画、推進することが不可欠であると思います。どのクラブにも長年にわたり受け継がれてきた事業があります。しかし、すべての継続事業が今の時代に歓迎されているのか、改めて見直す必要があります。

国際会長も“変化の対応”を掲げてみえます。人々が何を求めているか、また何をすべきかを考えなければなりません。新しい事業を企画、実行するには相当な時間とエネルギーが必要になります。クラブ内で事業見直しを真剣に議論しましょう。それにより、クラブが活性化するものと確信しております。

7. IT の活用と PR 活動

パソコンやスマートフォン等の普及により、情報は瞬時に世界中へ広まります。この情報技術をもっと有効活用し、正確かつ迅速な運営をしていきたいと考えます。

- ①情報発信の手段として、ホームページは欠かせないものとなっております。最新の情報をいち早く掲載できるよう、内容の充実にご協力いただきますようお願い致します。
- ②ライオンズクラブは世界で最大の人道的な奉仕団体ですが、その活動は一般の人にはあまり知られていません。今年こそ創造を活かし、新しい企画でクラブ運営をして下さい。ホームページや各種のメディア(特に地元の)を活用して単位クラブ、リジョン、ゾーンの活動のPRを積極的に行って下さい。
- ③今年も平和記念ポスター・コンテストへの参加をお願い致します。
- ④eMMRServannA(電子、会員、月例、報告)への正確な対応をお願い致します。

8. 安心安全の推進*特に防犯カメラ設置推進

最近では、犯罪の抑止力にもなり、事件の検挙に非常に役立っています。また、この設置活動により地域の方々と新たにコミュニケーションが保たれ、ライオンズに対する理解が深まると思います。



保険代理業
羊商(有)プロフィナンシャルサービス
一宮市神山 1-15-29
☎ 45-2598 FAX 44-1316
L 石 黒 薫

【単位クラブの運営・事業方針】

- 会員増強は奉仕活動の充実へとつながります。会員は3世代がバランスよく存在することが理想です。ベテラン会員の経験と知識、壮年会員の知恵、若手会員の斬新なアイデアと行動力が伴ってこそ、理想的なクラブ運営が出来、また素晴らしい奉仕活動が出来ると確信致しております。ライオンズクラブの将来のためにも若手会員の増強は緊急の課題でもあります。クラブは入会前オリエンテーションを丁寧に行って下さい。そして、クラブ員全員で新入会員をサポートし育てて下さい。
- クラブの人事については、出来る限り若手会員や女性会員を抜擢し、要職につけ、経験を積ませてください。”役職が人を作る“という言葉があります。誰も始めから完璧に出来る人などいません。徐々に実力をつけていけばいいのです。
- クラブの理事会、委員会は効果的に計画され、運営されているのでしょうか。意思決定は公平かつ透明に行われているのでしょうか。一部の会員への発言のみでなく、会員全員で活発な議論をして下さい。その為に、クラブ会長は強力なリーダーシップを発揮して下さい。この二年間で公認ガイディングライオン、CEPファシリテーターを養成してまいりました。今年度もセミナーを開催する予定です。この組織を各クラブで活用して頂き、活性化に努めて頂きたいと思います。幹事・会計、及び地区ガバナー指名者としてします。



有限会社 ラムダ

一宮市花池 2 丁目 26-15
TEL 46-6667
L 伊藤 裕彦

不動産 稲美産業 株式会社

一宮市松降通7-2 ☎ 71-3111
L 稲川 弘

各 委 員 会 報 告

◆指導力育成・出席委員会（委員長 L 阿部 勇）

1. 例会出席率向上について
出席率については60%前後でよしとするが、例会に出席しやすい雰囲気にする。（会長・幹事・委員長より声掛けをして頂く。）
2. メーク・アップについて
アクティビティを委員長名で事前に案内し、メーク・アップを促す。
3. 欠席者への対策について
個々にスポンサーから声をかけて頂き、出席して頂くようにする。
4. 新会員セミナー開催について
秋頃に開催予定。予算10万円。
5. その他
アテンダンス報告は委員会のメンバーにてローテーションで行う。

◆会員増強・会則委員会（委員長 L 大山恭範）

1. 新入会員について
入会予定者 12 名。
2. 入会式について
文面は従来通り。
3. 入会金について
従来通り、新規会員 50,000 円 交代会員 10,000 円
家族会員の国際協会入会金 (\$25) はクラブ負担とする。
4. 退会者について
予定なし。
5. 会員増強について
①期末 100 名を目標
②会員増強チームを 9 月に編成予定
6. 家族会員について
100%を目標。家族会員にもアクティビティの案内をする。ゴルフ・旅行等は実費とし、正会員と交代の場合は会員と同じ扱いとする。
7. FWT（家族及び女性チーム）について
女性会員の増強を図る。
8. 内規について
従来通り

◆財務委員会（委員長 L 青山吉光）

今期の予算は新会員も増え、ますます活発なクラブ運営が出来るようにした。
クラブ会員数は正会員 73 名・終身会員 21 名の計 94 名で計算。

1. 会費の科目割り振り率について
年間運営費 63%（昨年 64%）
年間事業費 18%（昨年 17%）
年間例会食費 19%（昨年 19%）
2. 年間運営費について
3R・1Z で垣見正則地区ガバナーが誕生し、地区年

次大会は全員登録。また、クラブネクタイ・ポロシャツを新調する。

3. 年間事業費について

- ①防犯カメラの設置
- ②スリランカに救急車を2台贈呈
- ③ホームページアドレスを変更
- ④キャビネット役員4名・3R役員2名選出
- ⑤献血会場がテラスウォークからiービル内に変更

4. 年間例会食費について

夜例会が1回増えます(金山グランコートホテル)
花見例会場が変更になり、尾西の金豊館

5. 特別事業積立金について

会員数94名×一人当たり10,000円=940,000円

6. 取引銀行について

変更なし。

7. 年会費について

正会員 210,000円

(前期 110,000円 後期 100,000円)

終身会員 200,000円

(前期 110,000円 後期 90,000円)

8. ドネーションについて

1,400,000円とする。

9. その他

- ①60周年事業として、チャリティーゴルフ大会の収益金と合わせて、多くの防犯カメラの設置をしたい。
- ②次期繰越金が確定してから再度財務委員会を開催する。7月上旬に行きたい。

◆PR・L情報・IT委員会(委員長L井尾公治)

1. 例会報について

- ①5W1H(いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように)を明確にする。
- ②アクティビティの原稿は事業担当委員会に願います。
- ③原稿・写真のメ切りは例会・アクティビティ終了後、次回例会日の前週金曜日までに提出して頂く。
- ④会員のコラム掲載について

L大島のコラムはとても面白い。他の会員からもコラムや短歌、和歌などを募集してはどうか。強制ではなく自主性を重んじた募集が良いだろう。

2. 報道関係等へのPRの依頼(事前告知又は事後)

中日新聞社、ICC、FMいちのみや、一宮市役所広報課等(献血は一宮市広報へ掲載依頼する)。

中日新聞社へは一宮総局の記者に掲載の依頼文書を持参や、FAXした。(L平光昌彦)

3. IT関連

①ホームページについて

60周年を機にホームページを刷新してはどうか。予算は財務委員会で協議予定。45万円を希望額として計上したい。→刷新について賛成。誰が行うかは別途協議する。現行は、L稲川 弘に更新を依頼。2001年度から。費用は年15万円。会長挨拶や例会報告、年間例会予定を掲載。

②Lions e-Clubhouse(ライオンズ国際協会の公式ホームページ)について

当クラブの紹介あり。こちらはL佐藤克巳がボランティアで更新。

4. 国際平和ポスターについて

今年度のテーマは「平和、万歳!」。11歳から13歳が対象。

5. ライオンズ情報関連

携帯メールでの連絡方法の確立。休日時の緊急連絡が迅速になる。状況を確認する。

◆計画委員会(委員長L佐藤 彰)

1. 例会年間計画について

別紙

2. 納涼日帰り例会について

半田方面で調整中。親睦委員会で検討している会長の色のあるプランに沿って趣のある例会会場を予定。

3. 例会食事について

例年通りです。

4. スピーカーについて

お礼は1万円。メンバーに喜んで頂ける様なスピーカーをお願いしていく。

5. CN例会について

例年通り

6. 年末家族会について

グランドティアラ名古屋駅前にて調整中。予算は前年度と同じく80万円。

7. 最終例会について

マリエール ガーデン バーベナにて開催。

◆親睦委員会(委員長L戸崎一豊)

1. ゴルフ大会について

一宮LCゴルフ大会は4回開催。

①決定コンペ: 一宮LC主催チャリティーゴルフ大会

10月6日(木) 岐阜稲口CC 180~200名参加募集
チャリティー募金は市民・環境保全に回し、一宮市内に防犯カメラを寄贈(予定)

②11月 日本ライン(予定)

③ 3月 関CC(予定) 愛西LC共同開催(調整中)

④ 4月 7LCゴルフ大会、一宮LCゴルフ大会併催

2. ボーリング大会について

2月 昨年同様 アソビックス尾西にて開催予定。
表彰会場は未定。

3. 最終親睦旅行について

5月 国内にて1,2泊で沖縄、北海道を検討中
委託業者は未定。

4. 日帰り旅行について

8月10日(水) 第1例会と重ねて予定(計画委員会と共同)。
行先: 半田市内 ミツカンミュージアム見学、中埜酒造見学、山田家ベルにて例会。
委託業者は名鉄観光にて調整中。

5. 献血奉仕活動終了後の懇親会について

8月24日(水) おおやま本店

6. その他

他クラブのチャリティコンペについて

10月3日 津島LC 10月17日 愛西LC

10月18日 海部LC 11月9日 蟹江LC

一宮LCの参加メンバーを調整する。

◆市民・環境保全・社会福祉委員会（委員長L日沖昇市）

1. 3R 合同「ゴミゼロ運動西尾張中央道クリーン大作戦」

①10月22日（土）の予定

②トング・軍手は前回からの物を使用する。（トング 40本・軍手90組）

③清掃範囲は前年と同様で4か所に分かれて行う。

④最低40人以上の参加者をお願いする。

2. 防犯カメラ設置について

一般家庭の隣接道路の設置はプライバシーの問題等で困難。

一宮市の駐車場・駐輪場等の設置で、今後一宮市と話し合う。

◆青少年教育委員会（委員長L野寄 章）

1. 一宮ティーボール大会について

例年通り、秋と春に開催

①秋の大会（一宮ライオンズクラブ旗争奪第17回一宮ティーボール大会）

9/17（土）開会式・予選 9/19（祝・月）予選

9/22（祝・木）決勝戦 9/24（土）予備日

場所 平島公園野球場にて開催予定

②春の大会（第18回春季ティーボール大会）

3/18（土）開会式

3/20（祝・月）決勝戦 3/25（土）予備日

場所 未定

予算30万円の拠出予定

2. 日本宇宙少年団一宮分団活動助成金について

例年通り10万円の拠出

5月に行われる水ロケット大会については2万円の協力を拠出

3. 一宮市保護司会協賛について

例年通り2万5千円の拠出

4. ともいき祭り参加について

10/29（土）に決定

例年通り焼きそばの模擬店の出店と音響設備を提供

予算10万8千円

5. ともいき・宇宙の子供達とのドッチビーでの交流及び食育交流会について

予算 未定

6. 一宮市オールスター選抜学童野球祭について

日時 未定

場所 平島公園野球場にて開催予定

予算 25万円（60周年記念メダル製作）

◆LQ・薬物乱用防止・レオ委員会（委員長L立川智浩）

1. 薬物乱用防止教室について

7月1日（金） 14:40 浅井中 講師L 立川智浩

7月4日（月） 8:55 葉栗中 講師L 野寄 彰

7月11日（月） 8:55 丹陽中 講師L 柴垣幹生

7月12日（火） 8:50 今伊勢中 講師L 八木丈之

7月14日（木） 8:45 南部中 講師L 御子柴孝明

全校の事前訪問は6月10日（金）10:00～16:00

2. 世界ライオンズ奉仕デーについて

上記5校にて薬物乱用防止キャンペーンを10月7日（金）に実施予定

3. 薬物乱用防止キャンペーン（保健所）

関係先との打ち合わせ後詳細を報告する

4. 薬物乱用防止講師 認定講座について

5名以上受講して頂く 講座は11月予定

5. 丹陽学区3小学校の6年生へ薬物乱用防止リーフレット・キズバンソコー配布について

例年通り配布する

◆LCIF・国際関係・YCE委員会（委員長L朝比奈純一）

1. YCE 生派遣について

夏期派遣はなし、冬期派遣は7月に募集

2. YCE 生受け入れについて

今期は一宮LCの予定はなし

3. LCIFについて

今期は60口目標とする。

理由として、一宮サウスLCからガバナーが出る、L青山吉光が地区LCIF・国際関係委員長、熊本に義援金を贈る等で目標は高いですが、ご協力をお願いします。

4. 救急車・消防車寄贈について

とりあえず2台の予算を立てておく。

5. 3R YCE 活動費

会員数94名×2,500円=235,000円の予定。7月末の会員数で確定。

6. その他

LCIFを熊本地震災害義援金として限定も出来ることを告知する。LCIFの積み立ても考えてみてはどうか。



（有）今枝工業

一宮市冨塚山寺17-2
TEL (0586) 53-6006

L 今枝 竹男

◆四献推進・アイヘルス・聴覚委員会（委員長L吉田憲司）

【決定事項】

1. 献血奉仕活動について
 - ①日時 8月24日（水）10時～16時（予定）
 - ②開催場所 一宮iビル7階シビックホール
 - ③目標受付人数 700名
 - ④粗品でライオンズタオルは不足のため発注
 - ⑤メンバー昼食は弁当を配布
 - ⑥慰労会は大山本店さんで決定
2. 愛知県眼衛生協会賛助会費について
検討する。

【懸案事項】

- ①1階iビル管理スペース（エスカレーター付近）を受付場所として利用することで7階に誘導しやすくなるので市役所経済振興課に行き許可の交渉をする（西尾幹事と訪問予定。）
- ②スペースの関係で7階だけではベット数が不足する恐れがあるため1階駐車場スペースに献血のバスを1台置くことが可能かどうかを駐車場管理会社及び赤十字に相談する
- ③来場者の駐車場はiビル駐車場で確保可能だが他もあたる予定メンバーは自身で交通機関にて来ていただくよう要請する



第1433回例会アテンダンス報告

会員数 133名 家族会員 49名
 例会出席対象会員数 84名
 出席者 59名（メイク・アップ 0名）
 出席率 70 %

 例会以後 メイク・アップ 2名
 修正出席率 72 %

L 岩村進次

第24回理事会報告

と き 平成28年6月22日(水)17:00
 ところ マリエール ガーデン バーベナ
 出席者

L 石黒	L 山中	L 野村	L 伊藤	L 三輪
L 西尾	L 青山	L 立川	L 石川	L 朝比奈
L 佐藤(正)	L 中沢	L 阿部	L 松山	L 坂本
L 大山	L 杉山	L 大島	L 田中(幸)	L 井尾
L 村橋(福)	L 平光	L 五藤	L 佐藤(彰)	L 川添
L 後藤	L 野寄	L 小野		

議題

1. 60周年準備委員会（6/8）報告

第1副会長 L野村政司より

- ①60周年記念式典ご招待者について
- ②式典登録料 全会員 10,000円

2. 一宮保健所地区薬物乱用防止推進協議会（6/8）報告

会長 L石黒 薫より
 一宮保健所にて開催

- ①「最近の薬物乱用の状況について」
愛知県一宮警察署 刑事課職員による講演
- ②「ダメ ゼットイ」普及運動の実施
と き 6月25日(土)
ところ 一宮駅

3. 5LC会長・幹事会（6/15）報告

会長 L石黒 薫より

- ①一宮七夕まつり協賛について
今年度同様1万円を協賛
- ②濃尾大花火大会協賛について
今年度同様2万円を協賛

4. 3R第4回YCE委員長会（6/16）報告

LCIF・国際関係・YCE委員長 L野寄 章より
 1年間の活動報告がなされた。

5. 会員増強・会則・FWT委員会（6/22）報告

会員増強・会則・FWT委員長 L村橋福一郎より

- ①入会希望者について
志賀龍司氏（株）ピコグラム 代表取締役
和田 剛氏（株）和田建設 代表取締役
2名の入会が承認された。
- ②クラブ内規附則について
次年度より附則が追加された。

6. その他

- ①ガバナー支援金について
キャビネット役員活動費として次年度に返金される。
6名分 490,182円
- ②ガバナーL垣見正則就任祝賀会について
18名が出席。1名15,000円（自己負担）

第 1433 回最終例会報告

と き 平成 28 年 6 月 22 日(水)18 : 00

ところ マリエール ガーデン バーベナ



今年度の最終例会がマリエール ガーデン バーベナにて開催され、テーマーL 立川智浩の司会にてプログラムに沿って進行しました。

石黒会長の「開会のゴング」に始まり、国歌「君が代」・「ライオンズ・ヒム」斉唱、「ライオンズの誓い」・「クラブスローガン」の唱和がなされました。



会長挨拶、幹事報告が行われ、新役員の任命式となり、新役員が紹介されました。野村会長に対し任務遂行の誓いを全員で行い、

会員皆様からもご承認を頂きました。

石黒会長・三輪幹事の退任挨拶後、会長・幹事、リジョン役員 L 杉山幸紀夫・L 大島八重子にそれぞれ花束が贈られました。



引き続き、L 田中幸雄よりアテンダンス報告、L 岡崎正剛よりテールツイスター報告と退任挨拶、テーマーL 立川智浩より退任挨拶が行われました。

最後に野村新会長と西尾新幹事の就任挨拶が行われ、石黒会長の最後のゴングで最終例会は無事に終了しました。

懇親会は、スクリーンに映し出されたカンボジアの映像を鑑賞しながら、会員の皆様も親睦を深められ滞りなく終了しました。

石黒会長をはじめ役員の皆様一年間本当にご苦労様でした。会員の皆様には多大なるご理解・ご協力賜り深く感謝致します。ありがとうございました。

例会担当 計画委員長 五藤一樹



薬物乱用防止キャンペーン

と き 平成 28 年 6 月 25 日(土)10 : 00

ところ 一宮駅前、構内周辺



薬物乱用防止のチラシ配りに L 小野・L 八木・L 井尾・L 平光の 4 人が参加。10 時集合し、一宮駅にて 30 分ぐらいで配り終わりました。



天気もなんとかよかったです。お疲れ様でした。

PR・ライオンズ情報・IT 委員長 平光昌彦



(有)UENO ALC

稲沢市西島新町 120
TEL (0587) 35-2186

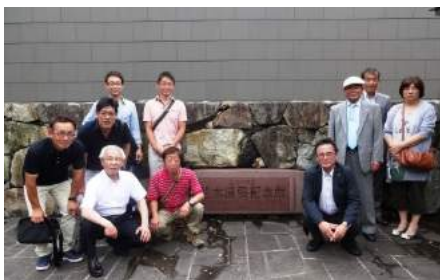
L 上野 秀 寿

最終親睦旅行 (福岡国際大会)

と き 平成 28 年 6 月 24 日(金)～25 日(土)
と ころ 福岡・北九州

名古屋空港より 7:35 発にて福岡へ 1 時間半で到着。
参加者 24 名の内ゴルフをされる 16 名とゴルフ場で別れ、
観光はベテランのガイドさんの案内で、松本清張記念館
を見学。膨大な資料がきれいに整理されて収められてい
ました。

次に赤間神社
を見学。「壇ノ浦
の戦いにおいて、
幼くして亡くな
った安徳天皇を
祀る。江戸時代
までは安徳天皇
御影堂といい、
仏式により祀られていた。」との説明。



昼食はふく（こちらではふぐのことをふくと呼ぶ）の
ご馳走でした。目の前に「唐戸市場」があり、中で新鮮
なお寿司を食べることができましたが、食事を済ませた
後なので、少ししか食べることができませんでした。



門司港レトロでは建築家の
黒川紀章が設計した高層マン
ションがあり、31 階には展望
室がありました。

ゴルフ組と合流し、宿泊先
のアルクイン黒崎へ 15 分程
休憩し懇親会場へ、楽しい時
間を過ごしました。



<ゴルフ組>

さる 6 月 24・25 日において福岡で開催された国際大会に
合わせて恒例の最終親睦旅行がありました。初日の 24 日の
早朝 7 時 35 分の飛行機にて出発し、9 時半過ぎには福岡に
降りたち、九州ゴルフクラブ八幡コースで 16 人のメンバー
でゴルフをしてきました。

ゴルフ場到着もスタート時間ギリギリという慌ただしさ
ではありましたが、降水確率 90%を大きく覆して曇空では
ありましたが、メンバー皆さんの日頃の善行のおかげで
終日雨に降られることもなく広々としたコースでゴルフを
満喫してきました。

特筆したいのは昼食が大変に美味しくて皆さんアルコー
ルと共にご馳走
を堪能されてい
ました。ゴルフ
終了後は観光組
の方々と合流し
て宿泊するホテ
ルへと向かいま
した。



今回ご参加のメンバー各位には大変にお世話になりまし
てありがとうございました。

副幹事 西尾建一郎

翌日はライオンズクラブ国際大会インターナショナルパレードを見学。クラブからは次期会長 L 野村政司、次期幹事 L 西尾建一郎、次期会計 L 大山恭範の3名がパレードに参加しました。

心配された雨もほとんど降らず、皆さん元気に行進されていました。昼食後、大宰府天満宮で参拝し福岡空港より帰路に着きました。ご参加いただいたメンバー皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

幹事 三輪泰治



薬物乱用防止教室

と き 平成 28 年 7 月 1 日(金)14 : 40

ところ 浅井中学校

7月1日野村会長・西尾幹事の新体制の初日に浅井中学校体育館にて、薬物乱用防止教室を開催しました。

初めに校長先生のお話があり、続いて野村会長による素晴らしいライオンズクラブの紹介をしていただき、薬物乱用防止のDVD「だめ・ぜったい」を15分放映しました。

続いて講師L立川智浩によるタバコと麻薬の怖い話を医学的な内容も混ぜて「何故やっちゃいけないのか?」「何故そうなるのか?」「世の中の決まりごと」を解りやすく中学1年生約240名を対象とした生徒さんに語っていただきました。

薬物に関する関心を持っていただき、大変良い勉強会となりました。暑い中参加していただいた10名のライオンの皆様ありがとうございました。

講師 立川智浩

参加者:L野村・L西尾・L山中・L八木・L伊藤・
L御子柴・L野崎・L三輪・L井尾・L立川



と き 平成 28 年 7 月 4 日(月)8 : 55

ところ 葉栗中学校

7月4日、朝の全校集会の後、葉栗中学校体育館にて薬物乱用防止教室を開催しました。

校長先生のお話から始まり、続いて野村会長によるライオンズクラブ活動の紹介をして頂きました。

薬物乱用防止教室としては、一番初めにDVD「だめ・ぜったい」を15分放映し、続いて講師L野崎 章による『乱用』から『依存』『中毒』への変化、また社会人時代に相談を受けた薬物乱用者及びその友人とのエピソードを交えながら全校生徒約550名を対象とした生徒さんに語って頂きました。

薬物の危険性・依存性を生徒達に伝えることができた、大変良い勉強会となりました。

また、暑い中参加して頂いた9名のライオンの皆様ありがとうございました。

講師 野崎 章

参加者:L野村・L西尾・L下田・L山中・L八木・
L伊藤・L岡崎・L立川・L野崎



一宮LC会員一覧表

結成年月日 1956年（昭和31年）10月26日
 チャーターナイト 1957年（昭和32年）4月27日

入会年月順 2016年 7月現在
 会 員 数 97名

入会年月	会 員 名	スポンサー名	入会年月	会 員 名	スポンサー名
1969. 2	◎ 佐 藤 正 剛	小 早 川 誠 一	2010. 7	原 田 豊 子	大 島 八 重 子
1969. 10	◎ 中 沢 成 光	牛 田 京 一	12	川 添 博 幸	大 島 八 重 子
12	◎ 奥 田 昌 治	小 早 川 誠 一	2011. 1	朝 比 奈 純 一	大 山 恭 範
1972. 11	◎ 佐々木 光 男	杉 本 健 勉	"	三 谷 敦 浩	青 山 吉 光
1978. 3	◎ 黒 野 利 一	渡 辺 猛	6	立 川 智 浩	尾 関 芳 久
1978. 10	◎ 祖 父 江 俊 之	大 角 春 幸	2011. 7	柴 垣 幹 生	伊 藤 裕 彦
1981. 1	◎ 森 正 一	横 井 公 一	"	岡 崎 正 剛	大 山 恭 範
3	◎ 阿 部 勇	不 破 義 明	2012. 1	衛 藤 雅 一	尾 上 幸 正
1983. 10	◎ 尾 関 芳 久	浅 井 正 孝	"	中 川 幸 男	尾 上 幸 正
1985. 1	◎ 田 中 幸 雄	今 井 貞 一	"	日 沖 昇 市	大 山 恭 範
1986. 2	◎ 加 藤 良 克	村 上 敬 三	2012. 7	浅 野 俊 幸	杉 山 幸 紀 夫
1986. 9	◎ 栗 田 隆 司	佐々木 光 男	"	東 宏 拓	伊 藤 裕 彦
1987. 2	◎ 松 山 栄	萬 谷 和 民	"	新 垣 憲 勝	伊 藤 裕 彦
1987. 10	◎ 稻 川 弘	平 松 茂	"	新 谷 匡 人	杉 山 幸 紀 夫
"	◎ 野々山 久	中 沢 成 光	"	石 川 英 明	杉 山 幸 紀 夫
1990. 4	◎ 松 本 史 郎	松 田 康 浩	"	加 藤 裕 紀	野 村 政 司
1991. 7	◎ 尾 上 幸 正	池 戸 和 久	"	川 合 充 恭	大 山 恭 範
"	◎ 春日 井 修	池 戸 和 久	"	瀧 泰 司	野 村 政 司
"	◎ 下 田 心 一	池 戸 和 久	"	西 尾 建 一 郎	大 山 恭 範
1993. 3	◎ 牛 田 寛	佐々木 光 男	"	原 田 敬 史	大 山 恭 範
1995. 1	◎ 坂 本 毅	尾 上 幸 正	"	吉 田 憲 司	岡 崎 正 剛
1997. 1	岩 村 進 次	岩 田 豊	"	戸 崎 一 豊	野 村 政 司
2	則 竹 正 孝	萬 谷 和 民	2013. 7	野 寄 章	五 藤 一 樹
5	小 野 正 之	萬 谷 和 民	"	宮 田 昭 一	大 山 恭 範
"	奥 村 一 彦	萬 谷 和 民	2014. 1	長 田 太 明	川 添 博 幸
1997. 7	後 藤 洋 一	井ノ口 竹 志	2	楠 田 晴	佐々木 光 男
1998. 7	石 黒 薫	佐々木 光 男	2014. 7	高 橋 敬	佐 藤 彰
"	青 山 吉 光	池 戸 和 久	"	御 子 柴 孝 明	青 山 吉 光
10	大 森 正 三	坂 本 毅	2015. 2	森 雅 也	山 中 一 史
2000. 1	中 村 武 弘	松 山 栄	"	上 野 秀 寿	山 中 一 史
4	山 中 一 史	田 中 梭 晤	2015. 7	今 枝 竹 男	村 橋 福 一 郎
2001. 1	大 山 恭 範	久 保 勇	2016. 7	新 井 誠	野 村 政 司
2001. 7	杉 山 幸 紀 夫	坂 本 毅		池 田 利 昭	石 川 英 明
2002. 7	奥 田 純 一	坂 本 毅		岩 田 昌 志	長 田 太
2003. 1	大 島 八 重 子	森 正 一		久 保 辰 也	大 山 恭 範
2003. 7	三 輪 泰 治	坂 本 毅		志 賀 龍 司	杉 山 幸 紀 夫
2005. 1	八 木 丈 之	松 山 栄		杉 本 敦 浩	野 村 政 司
2	野 村 政 司	大 山 恭 範		坪 内 章 浩	野 村 政 司
2005. 7	村 橋 福 一 郎	田 中 幸 雄		徳 山 勝 也	野 村 政 司
"	村 橋 道 夫	田 中 幸 雄		野々垣 総 一 郎	野 村 政 司
2006. 3	五 藤 一 樹	野 村 政 司		野 村 一 詞	伊 藤 裕 彦
2006. 7	栗 野 秀 樹	坂 本 毅		橋 詰 和 良	野 村 政 司
"	小 川 康 則	杉 山 幸 紀 夫		原 竜 秀 導	村 橋 福 一 郎
"	佐 藤 克 巳	今 井 彰 二		三 好 秀 日	伊 藤 裕 彦
2006. 11	志 村 英 俊	杉 山 幸 紀 夫		吉 田 剛	野 村 政 司
2007. 9	井 尾 公 治	稻 川 弘		和 田	
2008. 4	平 光 昌 彦	則 竹 正 孝			
2008. 10	佐 藤 彰	足 立 樹 丘			
2009. 7	伊 藤 裕 彦	大 山 恭 範			
"	田 中 秀 雄	尾 上 幸 正			
2010. 5	安 吉 亮	青 山 吉 光			

ドネーションの例

会員が自発的に協力して頂くようお願い致します。

	入会年月	会員名	スポンサー名
1	2014.2	青 山 広 己	青 山 吉 光
2	〃	五 藤 千 秋	五 藤 一 樹
3	〃	下 田 心 也	下 田 心 一
4	2014.3	青 山 恵 子	青 山 吉 光
5	〃	志 村 圭 哉	志 村 英 俊
6	〃	杉 山 あ す 香	杉 山 幸 紀 夫
7	〃	杉 山 義 彦	杉 山 幸 紀 夫
8	〃	野 村 優 子	野 村 政 司
9	〃	松 山 英 樹	松 山 栄
10	〃	八 木 ゆ き の	八 木 丈 之
11	〃	八 木 来 夢	八 木 丈 之
12	〃	矢 田 賀 也	坂 本 毅
13	〃	井 尾 恵 美 子	井 尾 公 治
14	〃	田 中 す 江 子	田 中 幸 雄
15	〃	佐 藤 留 美	佐 藤 彰
16	〃	石 川 暢 也	石 川 英 明
17	〃	西 尾 知 城	西 尾 建 一 郎
18	〃	大 山 貴 子	大 山 恭 範
19	〃	石 川 寛 之	尾 関 芳 久
20	2014.4	朝 比 奈 美 鈴	朝 比 奈 純 一
21	〃	石 黒 久 雄	石 黒 薫
22	〃	伊 藤 浩 子	伊 藤 裕 彦
23	〃	尾 上 宜 正	尾 上 幸 正
24	〃	五 藤 通 子	五 藤 一 樹
25	〃	下 田 直 子	下 田 心 一
26	〃	田 中 由 起	田 中 秀 雄
27	〃	中 沢 貞 子	中 沢 成 光
28	〃	山 中 康 子	山 中 一 史
29	2014.5	阿 部 安 子	阿 部 勇
30	〃	牛 田 慶 子	牛 田 寛
31	〃	尾 関 美 千 代	尾 関 芳 久
32	〃	川 添 恵 子	川 添 博 幸
33	〃	後 藤 久 代	後 藤 洋 一
34	〃	佐 藤 克 博	佐 藤 克 巳
35	〃	立 川 恵 理	立 川 智 浩
36	〃	野 寄 文	野 寄 章
37	〃	村 橋 さ ち 子	村 橋 福 一 郎
38	2015.2	山 中 妙 恵	山 中 一 史
39	〃	戸 崎 由 紀	戸 崎 一 豊
40	2015.12	石 黒 美 有	石 黒 薫
41	〃	サルヴァトーレ ピエーティスカルツィ	石 黒 薫
42	2016.2	中 村 京 子	中 村 武 弘
43	〃	加 藤 京 子	加 藤 良 克
44	〃	岡 崎 め ぐ み	岡 崎 正 剛
45	〃	稲 川 節 子	稲 川 弘
46	2016.3	村 橋 辰 彦	村 橋 福 一 郎
47	〃	今 枝 幹 雄	今 枝 竹 男
48	2016.5	春日井多恵子	春日井 修
49	〃	宮 田 真 奈 美	宮 田 昭 一

◆慶事・弔事・病快気・見舞

誕 生 日 の 祝	3,000
結 婚 記 念 日 の 祝	3,000
子 供 の 結 婚 の 祝	10,000
孫 の 結 婚 の 祝	10,000
子 供 出 産 の 祝	10,000
孫 出 産 の 祝	10,000
子 供 の 就 職 の 祝	10,000
子供・孫の大学入学の祝	10,000
子供・孫の高校入学の祝	5,000
子供・孫の小学校入学の祝	3,000
子供・孫の幼稚園入園の祝	2,000
叙 勲	20,000
市・県・各団体受賞	10,000
終 身 会 員	10,000
金 婚 式 の 祝	10,000
銀 婚 式 の 祝	10,000
還 暦 の 祝	10,000
古 希 の 祝	10,000
喜 寿 の 祝	10,000
新 築・改 築 の 祝	15,000
開 店 の 祝	10,000
会 社 役 員 就 任 の 祝	10,000
病 気 快 気 の 祝	5,000
弔 事 の 謝 意	5,000

◆その他

報 道 関 係 に 掲 載 さ れ る	5,000
ゴルフ・麻雀大会等の優勝	5,000
ゴルフの団体優勝	3,000
ホ ー ル イ ン ワ ン	10,000
厄 年	10,000
車 輛 購 入	5,000
写 真 代 金 実 費	

一宮ライオンズクラブ

(2016.7~2017.6)

役員構成

会 前 第1 第2 幹 副 会	会 長 副 会 長 幹 事 計	長 野村政司 石黒薫 伊藤裕彦 五藤一樹 西尾建一郎 立川智浩 大山恭範 石川英明 佐藤彰 岡崎正剛 川合充恭	理事(2年) 阿部勇 田中幸雄 杉山幸紀夫 井尾公治 朝比奈純一 野寄章	理事(1年) 加藤良克 稲川弘 坂本毅 日沖昇市 吉田憲司 戸崎一豊
ライオン・テマー			地区年次大会委員長	松山栄
副ライオン・テマー			地区LCIF・国際関係委員長	青山吉光
テールツイスター			地区情報推進委員長兼キャビネット副幹事	下田心一
副テールツイスター			地区財務委員長兼副会計	五藤一樹
名 譽 理 事		佐藤正剛	地区年次大会事務局長	坂本毅
〃		奥田昌治	地区年次大会副事務局長	杉山幸紀夫
〃		中沢成光	3R 環境保全委員	山中一史
〃		佐々木光男	3R 猫及び女性チーム(FWT) 類	大島八重子

委員会構成

接待委員 委員長 石黒 薫 副委員長 伊藤裕彦 委員 元会長						
監理	委員会名	委員長	副委員長	委 員		
第1副会長 伊藤裕彦	指導力育成・出席	阿部 勇	中沢成光 田中幸雄	佐藤正剛 黒野利一	奥田昌治 祖父江俊之	佐々木光男
	会 員 増 強 ・ 会 則 ・ F W T	大山恭範	杉山幸紀夫 山中一史	森 正 一 村橋福一郎	加藤良克 原田豊子	大島八重子
	財 務	青山吉光	田中秀雄	松山栄 栗野秀樹	下田心一	坂本 毅
	PR・L 情報・IT	井尾公治	牛田寛 佐藤克巳	松本史郎 平光昌彦	小野正之 今枝竹男	奥田純一
	計 画	佐藤 彰	野寄章 森 雅也	尾関芳久 加藤裕紀	尾上幸正 川合充恭	石川英明 原 竜也
第2副会長 五藤一樹	親 睦	戸崎一豊	中川幸男 高橋 敬	後藤洋一 上野秀寿 橋 詰和良	安吉亮 杉本敦剛	宮田昭一 坪内章浩
	市民・環境保全 社 会 福 祉	日沖昇市	小川康則 東 宏拓	岩村進次 岩田昌志	八木丈之 野々垣聡一郎	三 谷 敦
	青 少 年 教 育	野寄 章	新垣憲勝 原田敬史	則竹正孝 新井 誠	志村英俊 志賀龍司	瀧 泰 司 徳山勝也
	LQ・薬物利用防止 シ 才	立川智浩	三輪泰治 御子柴孝明	奥村一彦 楠田晴明	大森正三 久保辰也	柴垣幹生
	L C I F 国際関係・YCE	朝比奈純一	川添博幸 長田 太	栗田隆司 春日井 修	稲川 弘 中村武弘	野々山 久 三好秀導
	四 献 推 進 アイヘルス・聴覚	吉田憲司	岡崎正剛 浅野俊幸	村橋道夫 池田利昭	衛藤雅一 野村 一詞	新谷匡人 吉田日人
理 事	田中幸雄 加藤良克 稲川 弘 坂本 毅 杉山幸紀夫					
名誉理事	佐藤正剛 中沢成光 奥田昌治 佐々木光男					

一宮ライオンズクラブ年間例会予定表

(2016.7～2017.6)

開催日	曜	担当委員会	回	例 会	場 所
7	13 水	指導力育成・出席	1434	第 1 回 例会（基本方針発表）	一宮商工会議所
	27 水	会員増強・会則・FWT	1435	第 2 回 Z C クラブ 訪問 例会	一宮商工会議所
8	10 水	親 睦	1436	第 3 回 納 涼 例 会	半田市 山田屋ベル
	24 水	四献推進・アイヘルズ・聴覚	1437	第 4 回 献 血 奉 仕 例 会	iービル（シビックホール）
9	7 水	財 務	1438	第 5 回 例 会	ザ・グランドティアラー宮
	20 火	PR・L 情報・IT	1439	第 6 回 ガバナー公式訪問合同例会	名古屋文理大学文化フォーラム
10	12 水	青少年教育	1440	第 7 回 例 会	一宮商工会議所
	26 水	60 周年実行	1441	第 8 回 結成 60 周年記念式典	名古屋マリオットアソシアホテル
11	9 水	市民・環境保全・社会福祉	1442	第 9 回 例 会	一宮商工会議所
	22 火	計 画	1443	第10回 紅 葉 例 会	一 心
12	14 水	LCIF・国際関係・YCE	1444	第11回 例 会	一宮商工会議所
	23 祝	計 画	1445	第12回 年 末 家 族 会	ザ・グランドティアラ名古屋駅前
1	11 水	指導力育成・出席	1446	第13回 新 年 祈 願 例 会	真清田神社 参集殿
	25 水	会員増強・会則・FWT	1447	第14回 次期会長幹事招待例会	一宮商工会議所
2	8 水	四献推進・アイヘルズ・聴覚	1448	第15回 例 会	グランコート名古屋
	22 水	財 務	1449	第16回 例 会	一 心
3	8 水	PR・L 情報・IT	1450	第17回 P R 例 会	真清田神社 参集殿
	22 水	青少年教育	1451	第18回 例 会	一宮商工会議所
4	12 水	親 睦	1452	第19回 花 見 例 会	金 豊 館
	26 水	LCIF・国際関係・YCE	1453	第20回 例 会	ザ・グランドティアラー宮
5	13 土	LQ・薬物乱用防止・レオ	1454	第21回 地 区 年 次 大 会	ウエスティンナゴヤキャッスル
	24 水	市民・環境保全・社会福祉	1455	第22回 例 会	一宮商工会議所
6	14 水	親 睦	1456	第23回 役 員 退 任 挨 拶	一宮商工会議所
	28 水	計 画	1457	第24回 最 終 例 会	マリエール ガーデン バーベナ

親睦委員会年間予定表

月	日	曜	事業内容	場 所	摘 要
8	10	水	納涼例会	半田市 山田屋ベル	
10	6	木	チャリティーゴルフ大会	岐阜 稲口CC	
11	未		第1回ゴルフ大会	日本ライン	
2	未		ボーリング大会	アソビックスびさい	
3	未		第2回ゴルフ大会	岐阜 関CC	未定
4	9	木	第3回ゴルフ大会	レイクグリーンゴルフ倶楽部	7LC合同親睦ゴルフ大会併催
5	未		最終親睦旅行		沖縄・北海道を検討中

